

# 需要は伸び悩み、足踏み状態が続く

## 6月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

### 概況

一部業種で明るい兆しが見られるものの、需要の伸び悩み等により、景況感は依然として足踏み状態が続いている。また、コストダウン要請や原料価格の上昇傾向で収益状況は依然として厳しく、先行き不安が高まっている。こうした中、人材確保や市場ニーズへの柔軟な対応が今後に向けた課題となっている。

製造業	食料品		パンは気温上昇の早期化や、集中豪雨等の天候不順で路面店が苦戦し、学校給食用パンも米飯給食の推進により需要が減少している。菓子は月前半が好調となるも、月後半については気温上昇で客足が伸び悩み。食肉は豚の出荷が順調となり、と畜頭数・カット頭数ともに好調に推移している。
	繊維・同製品		桐生織物は輸出向けについて、商談会開催による需要増加に期待している。伊勢崎織物は和装織物の需要が伸び悩む反面、広幅織物は順調な売上を維持している。繊維製品は経営悪化に苦戦する中、今後、閑散期突入に伴う落ち込みを懸念している。ニットはコストや納期等の市場ニーズへの柔軟な対応が不可欠である。
	窯業・土石製品		生コンは前橋・高崎地区等の都市部における民需の増加や、利根・吾妻地区等の新たな公共事業により、出荷量が対前年比で増加している。コンクリートブロックは天候に恵まれたことで、出荷状況が上向きつつある。砕石は公共工事の落ち込みで売上高・収益ともに減少しており、景況感の悪化傾向が続いている。
	機械・金属		SUBARU関連について、品質向上のための経費負担増や為替変動等によるコストダウン要請で、下請企業は売上・収益ともに悪化している。一方、排ガス規制に伴う、今後の大型トラックの生産台数減少を懸念している。鍍金は売り手市場化に伴う大手志向の拡大で、中小企業の多い鍍金業界への就職希望者が減少。
	その他の製造業		木材は原料価格の上昇分の価格転嫁に苦慮する中、人手不足による操業度の低下が見られる。紙加工品は古紙価格上昇に伴い、大手製紙メーカーによる段ボール原紙や白板紙の値上げが相次いでおり、今後の業界動向を不安視している。印刷は受注の先細り傾向による家族経営等の小規模事業者の廃業が散見される。
非製造業	卸売業		前橋卸は組合の魅力発信や情報提供の強化等を目的にHPのリニューアルを実施。酒類卸は6月1日からの酒税法改正で、一部では値上げされるも、大型店舗等は販売価格を据え置いており、価格動向を注視している。水産物卸は寄生虫「アニサキス」による食中毒被害の報道の影響で、売上が落ち込んでいる。
	小売業		家電小売は価格競争による市場価格の下落傾向や、ネット通販の普及等で地域密着型の店舗は苦戦している。中古車オークションはほぼ前年並みを維持する中、成約単価が上昇傾向にある。生花小売は葬儀需要の低迷による菊類の販売不振で売上が減少している。商店街は比較的天候に恵まれるも、客足はいまひとつ。
	サービス業		温泉旅館はイベント等による入込増が見られるも、人手不足による休館日増加が散見される。また、一部の施設では宿泊者数の減少を単価上昇でカバーしている。不動産取引は渋川市域において、上武道路の全線開通で沿線の土地需要が増加している。建築設計は組合員による業務品質の均一化に向け、一層尽力していく。
	建設業		解体工事は学校や工場等において、夏休み期間の工事が集中しており、人員確保が当面の課題となっている。塗装工事は新築物件における生産性向上及び人手不足解消に向けた新工法採用の影響で、工事が減少傾向にあり、今後の仕事量確保を不安視している。鉄構は工期や工程の遅れが常態化している。
	運輸業		月末等の特定日を除いて、荷動きは低調に推移している。野菜関係は孺恋地域における降雹や空梅雨等の天候不順により、一部で出荷の遅れが見られており、出荷時期の集中による今後の配車繰りを不安視している。小型運送は医薬品の輸送が順調に推移し、全体として売上高・件数ともに増加となる。

\*本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

### 県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 108.7(前月比▲3.3%)「県統計課・5月」
- 住宅着工戸数 1,256戸(前年同月比+21.7%)「県建築住宅課・5月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規2.32倍・有効1.56倍「群馬労働局・5月」
- 大型小売店販売額 204億円(前年同月比+0.8%)「経済産業省・5月」
- 消費者物価指数(全国) 100.4(前年同月比+0.4%)「総務省統計局・5月」  
(鉱工業生産指数は22年=100とした指数・消費者物価指数は27年=100とした指数)